

◆「新しい川崎」メール版◆

－2026年4月28日第226号－

<目次>

● 川崎・中原空襲展が問いかけるもの

◆ 「ナフサ不足」と川崎市内事業者の困難

★ お知らせコーナー

① ～5/10 川崎平和館「川崎大空襲記録展」戦時下の市民生活と川崎大空襲

② 4/29 シンポジウム 南武線のワンマン化で何が起きているか

③ 5/1 第97回川崎メーデー

④ 5/16 #チェンジ川崎 講演と交流のつどい「森や街路樹の大事な役割」

⑤ 6/7 平和をきづく市民のつどい

★ 編集後記

●川崎・中原空襲展が問いかけるもの

今年も、4月17日から中原市民館で、中原空襲展が開催されました。  
1945年4月15日の川崎大空襲から81年間もの長い時間が過ぎました。

しかし、2026年4月、私たちの国と私たちの町が80年以上前と同じ危険な戦争への道へと踏み出していることを再認識する場となりました。

先週のメルマガ225号で「神奈川・川崎の防衛産業の急展開」を報じました。

市内の電気産業が、市民生活のための生産から防衛部品の生産へと急展開し、新工場を増設し、関連企業が増え、そこで働く人の雇用も大幅に増えていく。

80年以上前の川崎・中原の町も、同じでした。

以下、川崎・中原の空襲・戦災を記録する会がまとめた「川崎・中原空襲の記録」から紹介します。

中原区の日本電気は、1899年に設立、電話関連の機器メーカーとして発展しますが、昭和に入って軍用通信機の製造をねらって、現在の地に新工場を完成させます。

日中戦争が勃発する1937年から生産高は激増し、1944年までの7年間で生産高は、なんと13倍になりました。

戦争期に入ってから、中原区には軍需産業が次々と進出しました。農地が買い上げられ、三菱重工、富士通信機製造、荏原製作所、東京航空計器などの軍需工業が次々に作られ、内陸部工業地帯を形成し、多くの労働者が勤務し、周辺に寮や社宅も次々と増えていったのです。

### 軍需工場とその周辺が戦争の標的に

本土攻撃を開始した米軍は、当時の中原区を「この地域には、重要な電子機器および無線関係の工場、工作機械および精密機器部品の工場が存在する。」と評価していたのです。そして、川崎臨海部の重工業地帯とともに、中原の軍需工場と非戦闘員を含む地域全体を焼き尽くす作戦が作られたのです。

1945年の川崎大空襲と5月24・25日の空襲では、アメリカ軍の重要な標的となり、日本電気は広大な敷地の43%が焼失しました。また、周辺の町も70%以上が焼失しました。

中原区内の焼失家屋は2200軒以上、判明している死亡者70数名、その他、多摩川河川敷や社宅や寮など多数の死者が出たとの情報もあります。

「川崎・中原空襲の記録」の最後のページで、編集をしたメンバーの方の感想が聞かれます。

空襲も焼夷弾攻撃も、日本が先に中国などアジアの国々にやっていました。

日本の国民が味わった痛みを相手の国の人たちに与えていたのです。

その事実を深くうけとめ、二度と戦争をしてはいけないとの思いを新たにしました。

そのためにも、空襲体験、戦争体験、当時の日本がどのような国であったかを後世に伝えていきたいと思います。

敵基地攻撃、先制攻撃に踏み出そうとしている政治家。

そして、その攻撃を支え、儲けのチャンスと舞い上がる防衛産業。

その複合体が一線を越えた時に起きることは、相手の国の人たちの命と暮らしの破壊であり、そして、それを許した私たちに命と暮らしの破壊です。

中原空襲展は、二度と「この道」を歩んではいけないと、私たちに訴えていました。(I)

## ◆「ナフサ不足」と川崎市内事業者の困難

原油価格の高騰が町場の事業者さんたちを直撃しています。

特に今、注目されているのが「ナフサ危機」です。石油から作られる「ナフサ」は、プラスチック、塩ビパイプ、断熱材、塗料、接着剤などの主原料です。

ホルムズ海峡の危機により供給が不安定になり、メーカーが受注を停止し、「価格未定」での注文しか受け付けられない異常事態が起きています。

また、石油製品の不足では、屋根の防水シート、外壁の塗料、シンナーなどが特に入手困難になっています。

### <川崎市内の事業者の声>

中原区の市古次郎市議会議員は、市内の事業者からの声を「X」に投稿して、事業者の苦境を伝えています。

・4月19日：事業主のご家族のお話 「あらゆる資材の高騰、入荷も不安定の中、資材調達、取引先との交渉、施工。会社、家族を守るため休みなく働いている」

・4月20日：建設業を営む方から 「4月から徐々に塗料やシンナーが入って来なくなった。

いよいよ仕事が止まる。

来月から塗料の値段が40%上がると聞いた。価格転嫁は簡単じゃない。倒産もありうる」

・4月22日：区内の町工場さんから 「真鍮と銅の仕入れ価格が3倍になった。価格転嫁できなきゃ赤字。

まだ仕事はあるが、もし止まったら…うちはダメだろうな」

・4月25日：樹脂製品を製造している町工場を営む方から 「火災報知器取付用プレートや階段の手すりのカバー、塩化ビニール製のパッキン等を製造しているが、塩化ビニールが手に入らない。ポリエチレンは卸先から逆に戻せないか？という打診まであった。

ABSは仕入れ額が上がってきている。価格転嫁は容易ではない。

仕事が止まった建設現場もあると聞く。家が建てられなくなれば受注も止まる。この先どうなるか…戦々恐々している」

中原民商の柳沢会長は、銅製品の見積もりに「時価」と注釈をつけるといいます。

また、出入り業者の愚痴を毎日のように聞くそう。

超硬の精密金型を製造する業者は、「タングステン不足で、製品を作る超硬素材が入らないし価格が暴騰している。高市首相が一言謝れば解決するのに。」とぼやきます。

半導体製造に欠かせないラップ業者は、「ラップに使う油が入らず、生産が止まる。」といいます。

マシニングセンターを複数台稼働させている金属加工屋さんは、「大量に使う潤滑油が入荷せず、機械が止まる。」

工具屋さんは、超硬工具が軒並み 50%以上アップ。

高市首相のせいで金属が暴騰し、トランプ大統領のせいで石油製品が暴騰。これは人災と怒りを吐き出します。

#### <政治の出番～川崎市の緊急対策は>

まさに「嵐の中にいる」ような状況がわかりますが、これは個人の努力不足ではなく、世界情勢が複雑に絡み合った構造的な問題です。

まさに、政治の出番です。

それでは、地域に根差した町場の事業者を支える川崎市の支援体制はどうなっているのでしょうか。

川崎市のホームページは、川崎市による次のような支援策を公開しています。

##### 1. 資金繰りを支える「川崎市伴走支援型経営力強化資金（物価高騰等対策）」

内容：物価高騰の影響を受けている市内事業者が、金融機関のサポートを受けながら経営改善に取り組むための融資。

##### 2. 令和8年度「川崎市中小企業成長環境支援補助金」

内容：資材高騰や人手不足の中で、生産性を高めるための設備導入（例：効率の良い重機の導入、業務効率化ソフトなど）を支援します。

補助額：最大 200 万～300 万円程度（補助率 1/2～2/3）。

しかし、予期できない危機的な事態に対し、これらの対策だけではととても足りません。

川崎市一般会計に占める中小企業支援費と商工業費はわずか、0.2%です。

予算を抜本的に増額し、工場家賃の補助、電気代・燃料代の補助など直接経営を支援する対策を求める声が強くなっています。

行政は、町場の声を聴きとり、緊急対策をたてるべきです。

リーマンショックや、コロナ禍並みの経済政策が必要です。

そのためにも、事業者も市民も、声を市政にとどけましょう。(I)

## ★ お知らせコーナー

### ① 川崎平和館「川崎大空襲記録展」戦時下の市民生活と川崎大空襲

3/7～5/10 まで

川崎市平和館

主催 川崎市平和館

入場無料

### ② シンポジウム 南武線のワンマン化で何が起きているか

4/29(水祝) 14 時

川崎市総合自治会館

南武線のワンマン化の中止を求める川崎市民連絡会

連絡先 赤石(090-5301-5091)

[x リンク](#)

### ③ 第 97 回川崎メーデー

5/1(金)10 時開会

中原平和公園

連絡先 川崎メーデー実行委員会 TEL044-211-5164

### ④ #チェンジ川崎 講演と交流のつどい

「森や街路樹の大事な役割」

5/16 (土) 18:30～20:50

総合自治会館大会議室

お話 加藤颯(あきら)さん(千葉大学大学院准教授)

報告 等々力緑地を守る運動にとりくんで／等々力緑地を守る会

資料代 300 円

主催 川崎民主市政をつくる会  
連絡先 市古博一 (090-7830-8030)

#### ⑤ 平和をきづく市民のつどい

6/7 (日) 10時から15時

会場 川崎市平和館

記念講演 弓狩匡純さん (作家・  
ジャーナリスト)

主催 「平和をきづく市民のつど  
い」実行委員会

後援 川崎市、川崎市教育委員会

※ 舞台と展示で、平和をアピールする市民のつどいです。

連絡先 090-1458-3102 (柴田)

#### ★編集後記

「TACO取引」という言葉を知っていますか？

「TACO (Trump Always Chickens Out: トランプはいつも土壇場で逃げる)」取引。

アメリカ政権幹部や献金者が事前情報をもとに空売りや買いを仕掛け、荒稼ぎしているという話。

トランプ氏は、非常識で予測不能な発言で世界経済に大混乱をもたらしていますが、トランプ氏は儲け放題。

自分が何を言うか、自分は分かっているわけなので、株が上がるようなことを言う前に買えば儲けることができ、下がることを言う前に売れば損をしない。

こんなおいしい話はないが、普通、これはインサイダー取引と言って犯罪であり、逮捕される案件。

米民主党は何度も問題にして捜査を求めているが、共和党の抵抗で本格的な刑事捜査への進展は阻まれているよう。

しかし、戦況の重大な変化を知らせる発表のたびに、その直前に大規模取引が繰り返されており、市場内外では内部情報漏洩の可能性まで指摘されている。

米商品先物取引委員会 (CFTC) は先月 23 日と今月 7 日の取引を含め、最近相次ぐ石油先

物の異常取引全般を調査しはじめたらしい。

人の命を何とも思わず、儲けのために無辜の市民を殺戮する恐ろしい大統領は、私腹を肥やすために手段を択ばない。

トランプの戦争で日本の経済は急激に冷え込んでいます。

高市首相もまた、有事発言を撤回しないことで、レアメタル、銅合金の価格暴騰を生み出し、観光産業にダメージを与え、日本経済に大きな打撃を与えています。

トランプと高市。この二人の暴君を一刻も早く退場させたい。(Y)

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

[mailmag@newkawasaki.jp](mailto:mailmag@newkawasaki.jp)

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき！☆☆